

幌延深地層研究計画

平成14年度 調査研究計画の概要



幌延深地層研究センター



核燃料サイクル開発機構
Japan Nuclear Cycle Development Institute (JNC)
幌延深地層研究センター

平成14年度 調査研究計画

サイクル機構は、北海道幌延町において進めている深地層研究計画についてこれまでの調査で得られた地質学的なデータ、地形、道路条件、土地利用状況などを総合的に比較・検討した結果、北進地区に研究所設置地区を選定いたしました。

平成14年度は、研究所設置地区及びその周辺で、地上からの物理探査やボーリング調査等を行い地下の様子をより詳細に明らかにし、必要な調査技術・調査機器開発等を行います。この他、地震や地殻変動等に関する研究を行います。

なお、研究所設置場所については、今後、開発行為の制限、用地取得の可否、地形等を総合的に検討してできるだけ早期に選定して参ります。

調査の概要

★物理探査

地震探査用の振動装置を使用して人工的な地震波を発振し、地層の中を伝わる速度の違い等から地層の重なり方などを推定します。



物理探査(反射法地震探査)調査風景

★地質調査

地層の重なり方や地層の性質、断層などの地質構造を明らかにするため、地表に出ている地層の調査を行います。また、採取した岩石を顕微鏡で観察したり、化石などの分析を行います。



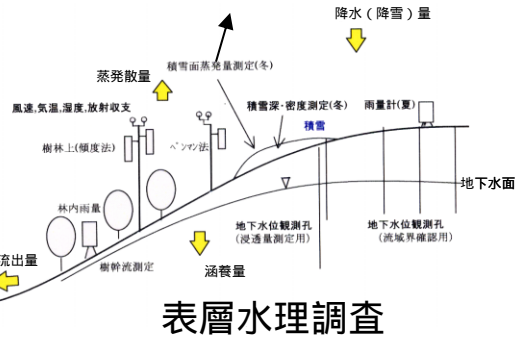
地質調査(露頭観察)風景

★表層水理調査

河川に計器等を設置するなどし、表層部の水の流れを調べます。



河川流量観測
河川流量計
河川流出量



表層水理調査

★地震・天然現象の研究

試錐孔(150m程度)を掘削し、地震計を設置して地震観測を行います。また、GPSなどを設置し、地殻の動きを観測します。

大学等の研究機関との協力についても検討します。



観測装置(GPS)の例



ボーリング調査現場の例
(HDB-1孔)

★ボーリング調査

研究所設置地区及びその周辺で深さ500m程度のボーリング孔を3ヶ所で掘削し、地層や地下水の性質を調べます。

サイクル機構の情報は、当機構のホームページや
ファクシミリでご自由にご覧いただけます。

インターネットホームページアドレス <http://www.jnc.go.jp>

ファクシミリ(フリーダイヤル) TEL 0120-234-601

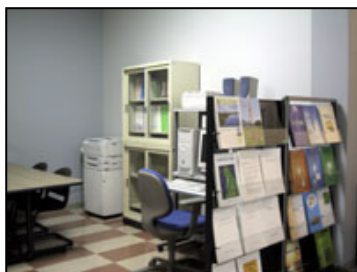
(ダイヤル回線の受話器でファクシミリをご利用される場合は
「トーン切替」をしてください)

幌延深地層研究センター内には展示室及びインフォメーションルームを設
置しています。

開館時間は平日の午前10時から午後4時までです。

展示内容

- ・ ビデオとパソコンで研究内容を紹介する
「深地層研究紹介情報システム」
- ・ 幌延での研究内容を紹介するパネル
- ・ パネルの内容をインターネットのイメージで、
青少年向けにやさしく説明するパソコンコーナー



インフォメーションルーム



展示室



深地層研究紹介情報システム



核燃料サイクル開発機構

Japan Nuclear Cycle Development Institute (JNC)

幌延深地層研究センター

〒098-3207 天塩郡幌延町宮園町1番地8

TEL 01632-5-2022

札幌事務所

〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目

北海道通信ビル5F

TEL 011-200-1681

2002.07